第６期

事業報告書

一般財団法人　地域・教育魅力化プラットフォーム

自　令和３年４月　１日

至　令和４年３月３１日

2021年度事業報告サマリ ― ①

	2021年度のゴール	事業結果
地域みらい3年	• 合説参加者2808人 • 2021参画校70校、2022参画80校	• 合説参加者1600人（イベント参加者2200人） • 2021参画70校、2022参画88校見込み（🤞）
地域みらい365	【2期留学生募集（目標）】 会員登録529人 留学希望106人 応募者数53人 留学生数34人	●希望者は目標超えるも、教育課程のミスマッチなど応募までいかない生徒が多く留学生数は未達 ●内閣府補助終了後（2025年）の持続性に課題有。 【2期留学生募集（結果）】 会員登録540人 （対目標102% 対前年120%） 留学希望106人 （対目標100% 対前年216%） 応募者数43人 （対目標81% 対前年143%） 留学生数29人 （対目標85% 対前年121%）

2021年度事業報告サマリ ― ②

しまね

2021年度のゴール

【①全県の仕組み・コンソ単位のデザイン支援】
・各学校・コンソのグランドデザイン（指標）、3ポリ・県外生徒数、及び、推進体制の構築

【②県単位の次年度への仕込み】
・各自治体と県で、卒業生コミュニティ発足支援の予算組み
・チャレンジファンド事務局発足

【③モデル校を通じた探究の生態系の構築】
・高大連携推進員を通じて進路検討会に当たり前に参加できており、県内全校で総合選抜の
合格に向けたノウハウの形式知化ができている
・探究・キャリア支援のオンラインプラットフォームの開発機能とオペレーションが明確になっており、
次年度から開発に着手できる
・自治体/学校やコンソ単位の卒業生コミュニティができている

事業結果

【①全県の仕組み・コンソ単位のデザイン支援】
・全県立高校のグランドデザイン、及び、コンソーシムが完成

【②県単位の次年度への仕込み】
・卒業生還流モデル事業が発足（6自治体）
・チャレンジファンド事務局を発足。3月末にプログラムを試行実施（50万円の獲得見込み）

【③モデル校を通じた探究の生態系の構築】
・総合型選抜の合格に向けた「進路探究ゼミ」を、推進員の拠点校で試行実施（約80人に提供）
・探究・キャリア支援のオンラインプラットフォームの開発機能とオペレーションが明確になり、
次年度からシステム立ち上げ、試行実施に着手（4校に提供予定）
・エリアごとでの高3フェス、卒業生が関わる探究フェスタを実施。
卒業生のコミュニティサイトも立ち上げ、コミュニティの母数を増やす（ユニーク150人）

2021年度事業報告サマリ ー ②

	2021年度のゴール	事業結果
R&D	• 【県・伴走】県伴走展開3県 • 【国・評価】文科新事業構築 • 【国際・WB】JICA事業の開始	• **【県・伴走】**県伴走3県（高知・佐賀・群馬）決定 • **【国・評価】**文科新事業（CN人件費付事業24校、CN構築事業2000万/年）、183校（66809名）が評価活用、評価活用のCN・留学エビデンスレポート • **【国際・WB】**ウェルビーイング指標を評価へ装着、JICA事業開始
CN	・22年度参画20校受注目標 ・22年度から採用配置育成支援がスタートできる状態	・22年度参画校10～12校見込み（達成率50-60%） ※島根県の配置研修のみ参画する学校除く ・2月に第一回受け入れ側研修を開催、4月から採用サイトリリースとスタートできる状態ができた
FR	22年度3,000万に向けた戦略・戦術検討 • マンスリーサポーター新規400人800万円 • VP・大口/中口（ふるさと納税）寄付1,300万円 • 自動販売機100台1,000万円	・マンスリサポーター新規19人300万円（継続率90%） ・VP就任1就任700万円、ふるさと納税280万円 →FR合計1,280万円 ・自動販売機2022年4月設置見込25台 ・企業版ふるさと納税開発

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科　　目			金額	
Ⅰ 経常収益				
	1　受取寄付金		14,003,488	
	2　受取助成金等		32,445,080	
	3.　事業収益		180,221,944	
	4.　その他収益			
		受取利息	808	
		雑収入	1,143,200	
	経常収益計		227,814,520	227,814,520
Ⅱ 経常費用				
	1.　事業費			
	（1）人件費			
		役員報酬	8,773,913	
		給料手当	44,791,542	
		雑給	1,921,646	
		法定福利費	6,568,094	
		通勤手当	831,005	
		人件費計	62,886,200	62,886,200
	（2）その他経費			
		外注費	70,235,755	
		荷造運賃	2,821,318	
		広告宣伝費	22,564,251	
		交際費	375,048	
		会議費	1,068,192	
		旅費交通費	5,381,372	
		通信費	3,557,411	
		消耗品費	880,263	
		新聞図書費	4,180	
		諸会費	55,000	
		支払手数料	519,172	
		租税公課	106,200	
		減価償却費	3,073,913	
		その他経費計	110,642,075	110,642,075
	事業費計		173,528,275	173,528,275

2. 管理費			
（1）人件費			
	役員報酬	2,077,747	
	給料手当	8,195,540	
	雑給	67,275	
	法定福利費	1,362,825	
	通勤手当	253,432	
	福利厚生費	314,495	
	人件費計	**12,271,314**	**12,271,314**
（2）その他経費			
	外注費	12,018,881	
	荷造運賃	117,637	
	広告宣伝費	4,299,403	
	交際費	214,604	
	会議費	540,979	
	旅費交通費	2,975,761	
	通信費	3,282,059	
	消耗品費	1,566,456	
	水道光熱費	1,306,395	
	新聞図書費	81,879	
	諸会費	13,650	
	支払手数料	2,171,671	
	地代家賃	5,666,566	
	租税公課	4,828,452	
	支払報酬料	1,536,564	
	減価償却費	191,505	
	研修費	274,253	
	印刷製本費	96,731	
	備品費	190,300	
	雑費	7,965	
	その他経費計	**41,381,711**	**41,381,711**
管理費計		**53,653,025**	**53,653,025**
経常費用計		**227,181,300**	**227,181,300**
税引前当期正味財産増減額			**633,220**
法人税等			**77,600**
当期正味財産増減額			**555,620**
前期繰越正味財産額			**107,700,211**
次期繰越正味財産額			**108,255,831**

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

貸借対照表

2022年3月31日

(単位：円)

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,892,765		
売掛金	63,262,616		
貯蔵品	568,833		
前払費用	144,260		
未収入金	820,694		
流動資産合計		**126,689,168**	
2. 固定資産			
（1）有形固定資産			
工具器具備品	132,200		
有形固定資産計	**132,200**		
（2）無形固定資産			
ソフトウェア	13,518,487		
無形固定資産計	**13,518,487**		
（3）投資その他の資産			
敷金	280,000		
投資その他の資産計	**280,000**		
固定資産合計		**13,930,687**	
資産合計			**140,619,855**
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	29,172,097		
未払費用	206,411		
未払法人税等	81,000		
前受金	281,797		
前受寄付金	1,300,000		
預り金	1,322,719		
流動負債合計		**32,364,024**	
負債合計			**32,364,024**
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		**107,700,211**	
当期正味財産増減額		**555,620**	
正味財産合計			**108,255,831**
負債及び正味財産合計			**140,619,855**